



# よろこび

2024.11.20 第143号

年金局・「隠退教師を支える運動」通信



渡邊 義彦 先生

## 感謝とよろこびの応答

東京教区代表理事 渡邊 義彦

2022年から前教区議長を引き継いで教団年金局理事としての務めを負わせていただいています。コロナ禍での引継ぎでしたから、これまでオンラインの会議がほとんどでした。次第に対面での話し合いも持たれるようになり、既に理事会は対面での会議を再開しています。常任理事会では、43総会期、最初の会議をまず対面に行うこととなりました。理事となつて

はじめてのこととなります。

これまでも、この「よろこび」や教団新報に掲載される年金局報告、また毎年の教区総会でいただく報告などで年金局の働きについて覚えてきたつもりでいました。けれども年金局の会議に加えられる、教会に仕えてこられた教師の隠退後のために、いかに細やかな、忍耐をもった働きがささげられているか、ということを目の当たりにしています。

年2回開かれる理事会には各教区から理事の方々が集い、年金業務が適正に行われていることを確認し、半期ごとの財務・業務報告を承認します。またそれぞれの教区で

の、年金加入の勧め、謝恩日献金への参加のお願いなど、取組みが報告され共有されます。

そして、この理事会と理事会をつないで毎月開催される常任理事会では、納められた掛金が堅実に、有効に運用されて果実を生み出し、隠退された教師方の生活をお支えるものとして支給されていることの報告を受けます。これから毎月の報告からは、教会、事業所、及び教師からあずかり、教区より納入された掛金、隠退なさった教師方へ支給される年金、また隠退されて新たな受給者となられる教師方、受給してこられた教師が逝去された際には遺族配偶

者の方々に年金が継続されるための諸手続等々、年金支給のために実にきめ細かい手続が途切れることなく行われていることがわかります。

また各月ごとに開催される常任理事会の間には、財務報告と資金運用を確認する委員会が持たれ、さらにこれから年金制度を維持してゆくための検討を重ねる委員会が継続的に開催されています。

年金を巡っては規則だけでは判断できないような個別的なケースも少なからず生じます。掛金として納められた年金が最大限有効に用いられるように、そして何よりも年金を受けられる教師、ご家族がしっかりと支えられることを優先する、適切な判断が下される話し合いも共にしてまいりました。

理事会にも、常任理事会にも教師たちが数名ずつおりますが、理事の多くは信徒の方々です。細々とした配慮を必要とする業務室の働きも、

また信徒の職員の方々に担っていたいただいています。教団年金の働きが信徒の方たちの献身の志で支えられていることを思うのです。この志が隠退された教師方への感謝という実に率直な、素朴な思いから生じています。教師として年金局の会議に加えられて、このような働きを目の前にして頭の下がる思いがします。

また、年金局の枠を越えて、隠退教師を支える運動からの毎年の繰入金によっても年金局の財務が大きな支えをいただいています。この運動もまた信徒運動ではじまり、継続されているものです。

教会、事業所及び教師による掛金、謝恩日献金、支える運動からの繰り入れ、そして積立金の堅実な運用、年金局の収入は実にシンプルです。そして、あずかった果実を隠退された教師方、ご家族にお届けし、さらに将来のために積み立ててゆくという支出もまことに気持ちよいほどに明快

です。年金が決して滞ることのないようにという実直な思いを、年金局の会議に、業務に見る思いをしています。ほんとうに感謝なことです。

「後にいる者が先になり、先にいる者が後になる」と主はおっしゃいました。ぶどう園での働きによつていただいた報酬を、労働の対価としか考えられなかった人たちに、主はこのように言われたのでした。主なる神が唯々一方的にくださった大きな恵みがあります。この恵みをよろこび、

感謝する応答の仕方があります。

教団年金の制度、業務、そして、それぞれの献身を知らされてゆくとき、ここにも主のお言葉のとおり、信仰に基づいた感謝とよろこびが教会の中に行き交っていることがよくわかります。よろこびの表現として、これからも年金局の働きに力を尽くしてゆけるよう願っています。

(わたなべ よしひこ)

東京・柿の木坂教会牧師

## 全教区推進協議会 開催のご報告

「隠退教師を支える運動」推進委員会

事務局長 山田 昌人

2024年10月18日(金)に、昨年同様午前午後の4時間半に亘つて「全教区推進協議会」を開催した。推進委員

と教区・支区の推進員に監事・陪席者に加え、総勢30名(うちZoom7名)の参加者を与えられた。

開会礼拝(説教網中彰子総幹事)に始まり、昨年度事業報告・決算報告、今年度計画と上半期の活動状況の報告、年金局の近況説明(中川義幸年金局理事長)が行われた。昼食休憩の後、「運動の輪を

広げよう」とのテーマの下、推進委員2名の発題を受けて協議を進めた。

当運動についての「私たちのビジョン」を一同で唱和し、祈禱会を以って閉会した。

参加されたお二人の推進員からご寄稿いただいた。

### 「隠退教師を支える運動」 全教区推進協議会に参加して

東京教区・東支区推進員

白井 昭子

10月18日、日本基督教団会議室にて、2024年度の全教区推進協議会がZoomの方々と共に開かれました。網中師による開会礼拝の後、「隠退教師を支える運動」がどのように活動しているのかを伺



白井 昭子さん

い、午後は、長年この運動を支えて来られた推進委員の発題、また其々の教区の推進員からのお働き、いろいろな相談しながら工夫されていることなどを伺い、未だに支区の教会とどのように関わらせていただいたら良いかと思ひ悩んでいた私には、大変参考になる会でした。

会の終わりに、鈴木委員長の「この運動は信徒の祈りの中で始められた信徒運動です。皆さんもどうぞ、祈りをもつてこの運動を進めてください」とのお言葉に、自分の力で何とかしなければと考えていたことに気づかされ、改めて、祈りつつ導びかれて用いて戴きたいと思わされました。感謝いたします。

(しらい あきこ／三崎町教会)

### 祈りと感謝の信徒運動として

東北教区推進員

佐藤 京子

昨年の6月より前任者から



佐藤 京子さん

の依頼で、推進員を引き継ぎました。新人研修会はズームでの参加でした。協議会は今年是对面で2回目となり、皆様との出会いが励みになりました。東北教区総会では、年金局の高橋嘉男理事から丁寧に紹介頂き推進員としての第一歩を踏み出しました。100円献金と謝恩日献金が協力しあい、「私たちのビジョン」に示された言葉一つ一つに込められている思いや重さに、使命感を感じました。

滝川英子推進委員の尊い体験をお聞きして、今までお会いしてきた多くの牧師の顔が目に浮かんで、この運動の必要性を強く感じる事が出来ました。覚えて、祈り感謝することの大切さを知り、又こ

の運動を正しく理解し、信仰をもって推し進めていくことが私の課題となりました。第20回教団総会で全員総意で決議され、46年間引き継がれている信徒運動であると心に刻んで！

(さとう きょうこ／仙台北教会)





# 業 務 室 よ り

## ― 年金を受けている方へ ― 年金給付のお知らせ

12月の定例給付のご案内をします。

**送金内容** 2024年度第3期分給付  
(2024年10・11・12月分)

**送金日** 2024年12月10日(火)  
期日に、ご指定の金融機関に入金されて  
いない場合は、ご連絡ください。

**次回送金** 2025年4月10日(木)

連絡先・年金振込先の変更は、できる  
限り早めに、書状、Fax、e-mailの何れ  
かで、年金局までお知らせください。

☆ 10月10日の定例給付では、退職年金と  
キリスト教教育主事退職年金、合わせて  
1億904万円を710名の受給者にお送り  
いたしました。

なお、次回の給付は4ヶ月後と、いつも  
より期間が空きますのでご注意ください。

☆ 「教団新報・年金特集」(No.80)を同封  
します。年金局ならびに「隠退教師を支  
える運動」の2023年度決算報告を掲載  
しております。どうぞご覧ください。

また2023年度に隠退され、年金受給者  
となられた31名の先生の内、15名の先  
生方からお寄せいただきました近況を掲  
載いたしました。この場をお借りして、  
執筆くださったみなさまに感謝いたしま  
す。併せて、隠退された全ての先生方と  
ご家族の上に、主の豊かな祝福をお祈り  
いたします。

☆ 2025年1月に確定申告のための計算書  
をお送りいたします。大切に保管し、確  
定申告の際にご利用ください。遺族年金  
受給者には送付しておりませんので、必

要な方は年金局までご連絡ください。

また今回は、『2025年度現況届』のハガ  
キも同送いたします。経費節約の折り、  
郵便料金値上がりを考慮しての対応です  
ので、ご理解とご協力をよろしくお願い  
いたします。詳細は同封のお手紙をご覧  
いただき、ご提出をよろしくお願いいた  
します。

☆ 去る10月29日～31日にホテルメトロ  
ポリタン池袋に於て、第43回日本基督教  
団総会が開催されました。議員総数400  
名中367名の出席で議事が開始されまし  
た。全体のプログラムは審議に集中し、  
多くの議決が取扱われました。三役選挙  
は、投票の結果、総会議長に雲然俊美牧  
師(秋田桜教会)、副議長に藤森勇紀牧師  
(富士見町教会)書記に黒田若雄牧師(高  
知教会)、それぞれの方が再選されました。  
この他に、常議員選挙、4年間の活動委  
員会、各教区の活動、財務関連などの報  
告と承認などが取扱われました。

☆ 今年の「謝恩日」は11月24日です。全  
国の教会・伝道所に献金をお願いをして  
います。長い年月、主の業に全力を注い  
で来られた先生と遺族の方々が、隠退後  
に少しでも安定した毎日をお送りいた  
できるようという願いから発足した教団  
の退職年金制度は、全国の教会と信徒の  
みなさまから献げられる「謝恩日献金」  
と「隠退教師を支える運動100円献金」  
が大きな支えとなり、60年間歩んでまい  
りました。これからもこの制度が永続的  
に健全な運営が続きますようお祈りと  
お支えをよろしくお願いいたします。

(村山めくみ)

日 本 基 督 教 団 年 金 局

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-31

Tel: 03(3202)2080 / Fax: 03(3202)2081

mail:nenkin@uccj.org

「隠退教師を支える運動」推進委員会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-31

Tel: 03(3232)8005 / Fax: 03(3202)2081

mail:sasae100@uccj.org